

冬期の耕耘

【加西A④⑤、加西B⑩、西脇⑭⑮】

冬期耕耘の効果



貝の破碎：殻に傷がつくと◎



低温による防除効果
：ダメージが蓄積すると◎



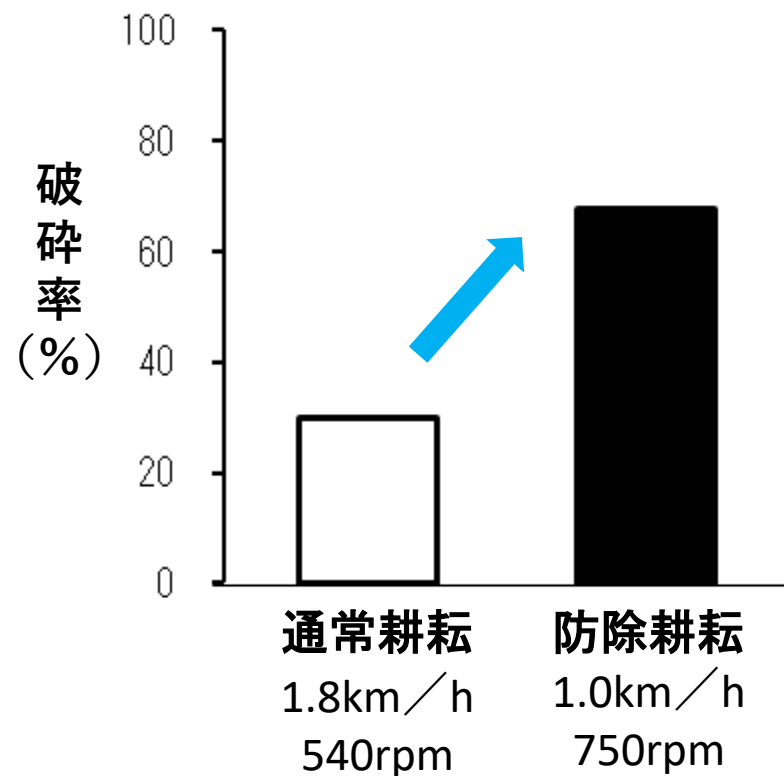
冬期の耕耘

ポイント

- ①土を細かく砕く
要領で耕耘する

表土に亀裂が入るくらい乾かした後、トラクターの走行速度は通常の半分以下に、ロータリの回転速度は1～2段階上げて耕耘する

額縁だけでもゆっくりと



②生息数低減

冬期の耕耘

ポイント

②冬が来る前に耕耘する

通常の耕うんで貝が破砕できなかった場合でも、貝は寒さに弱いので、耕耘時期を早めることで、低温による殺貝効果も期待できる



②生息数低減

冬期の耕耘

【西脇⑭⑮】

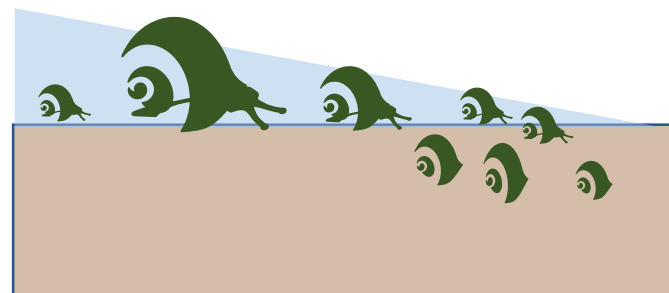
地域	圃場 番号	侵入防止対策	水田の生息数低減対策			食害防止対策		作付初期の スクミリンゴガイ 発生程度	被害程度 (欠株率)	防除 効果	昨年度の 被害程度 (欠株率)
		取水口 網設置	石灰窒素	冬期耕耘	スクミノ	浅水管理	パダン				
西脇市	14	○		○	○ 隅のみ＋ 全面	△		多	3%	◎	15%
	15	○		○	○ 全面	△		中	2%	◎	15%



浅水管理

【均平化：加西A③④⑥、加西B⑩】

【通常の浅水管理： 全ての実証圃】



水が溜まっているところ
ろしか、食べられない

殻が水から出ると活動できない
→深いところへ集まってくる

目標水深 4 cm以下

小澤ら（1988）

均平な圃場ほど管理しやすい



レーザーレベラーによるほ場の均平化

ほ場均平化（レーザーレベラー） 前の準備作業

1 乾田化 1

排水不良のほ場では明渠※、暗渠※※などで排水を促す。

※溝堀機による明渠 ※※サブソイラによる弾丸暗渠



弾丸暗渠を入れたほ場

2 刈り株の処理

フレールモア等により、稲株を細かくする。細かいほど均平になりやすい。

3 乾田化 2

作土層を反転させて土壌を乾す。

※カルチがない場合は、ロータリを2回かける



カルチ
スタブルカルチ
スピードカルチなど
機械メーカーによって名称が異なる

4 碎土

ロータリで耕うんする。
土が細かいと均平になりやすい。



ロータリ
による耕
うん

レーザーレベラーによる均平化作業



レーザーレベラー



レーザー発光機



作業の様子 1



作業後の様子 2

浅水管理

目標水深 4 cm以下

均平な圃場ほど管理しやすい



水が深いところは食害を受ける



加西A⑥（均平化圃場）

浅水管理

目標水深 4 cm以下を実施
するための支援ツール



スマホで遠隔地
から水位を確認



自動給水装置



水位センサー